

本県のまちづくりの方向性について

富山県における都市の将来像

① 集約的な都市構造への転換

◆富山県のコンパクトなまとまり、鉄軌道をはじめとする基幹的な公共交通網を活かした集約型都市構造への転換

●環境負荷の低減

- ・拡散傾向の高い都市では、1人当たりの交通エネルギーが大きい(=環境負荷が大きい)傾向。
- ・集約型都市構造への転換により、環境負荷の低減が期待される。

●高齢者の生活移動の確保

- ・富山県では高齢化が進み、生活移動に不安を抱える高齢世帯が大幅に増加。
- ・集約型都市構造への転換により、高齢者の生活移動手段の充実が期待される。

●中心市街地の活性化

- ・中心市街地の人口減少や商業活力の低下が進行。
- ・集約型都市構造への転換による活性化が期待される。

●行政コストの削減

- ・市街地の拡散により都市経営コストが増大(道路、上下水道…など)。
- ・集約型都市構造への転換により都市経営コストの大幅な削減が期待される。

③ 安全・安心な暮らしの確保

- ◆県民の安全・安心な暮らしの確保は、都市づくりの基盤となる最も重要な施策。
- ◆防災施設整備等のハード整備に加え、ハザードマップや土砂災害警戒区域の指定など、災害のリスク情報を都市づくりに活用。

●安全・安心な暮らしの確保に向けて

- ・土砂災害警戒区域等の指定(都道府県)

- ★土砂災害の恐れのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進。



【土砂災害警戒区域等の概要】

- ・洪水ハザードマップの整備(市町村)

- ★洪水ハザードマップにより、自分の住む地域の水害に対する危険度を認識し、災害時に住民が自ら避難活動を行うために必要な情報を提供(県内全市町村で作成・公表済み)。



② 富山らしさを活かした都市づくり

◆富山県が誇る自然、景観、歴史文化資産を活かした魅力的な都市づくりの展開

●都市と自然の調査

- ・豊かな自然環境を活かした都市づくり

●「都市」と「自然」の連続性に配慮した都市計画の展開



●良好な景観づくりの推進

- ・地域の個性を活かした魅力ある景観づくり



富岩運河環水公園(富山市)

●歴史文化資産の保全・活用

- ・地域の歴史や伝統文化を活かしたまちづくり



山町筋(高岡市)

④ 広域的な交流・連携を支える都市づくり

◆北陸新幹線の開業や広域幹線道路網の整備を踏まえ、県内市町村間や県外他都市との広域的な交流・連携の促進を視野に入れた都市づくりに推進。

●北陸新幹線の開業効果の持続・深化

- ・平成27年3月の北陸新幹線開業による、観光の振興や交流の促進、産業の振興、賑わいの創出など様々な効果を持続し、さらなる深化を図る。

●広域幹線道路網の整備

- ・高速道路や地域高規格道路をはじめとした、県内道路網の体系的な整備を行うとともに、追加ICの設置等による利便性の向上を図る。

富山駅南口駅前広場の状況(2016.11撮影)

富山駅付近連続立体交差事業
駅前広場の整備



観光バス駐車場
【2016.11.4供用開始】

都市づくり分野における近年の国の動向

① 立地適正化計画制度の創設 (平成26年8月、都市再生特別措置法の一部改正により創設)

- 今後、急速に進む人口減少や超高齢化に対応するため、「コンパクト+ネットワーク」の考え方にに基づき、都市全体の構造を見直し、居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりを推進する制度。

県内では、富山市、高岡市、水見市、黒部市、小矢部市、入善町が作成中



出典:立地適正化計画作成の手引き

② 地域公共交通網形成計画制度の創設 (平成26年11月、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正施行)

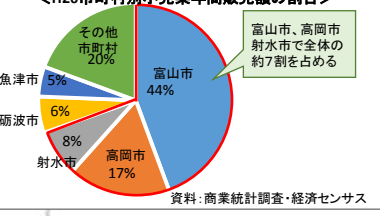
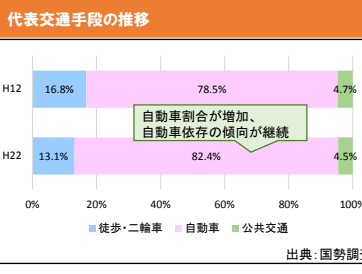
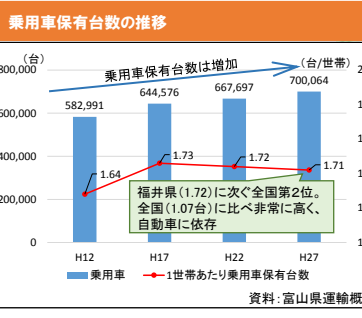
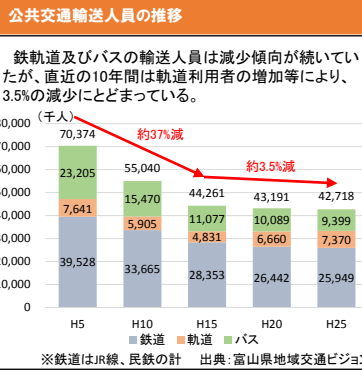
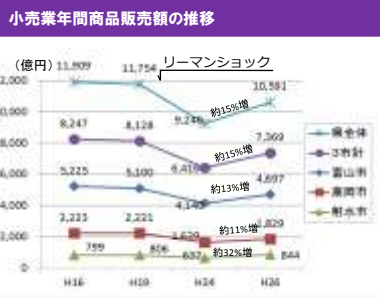
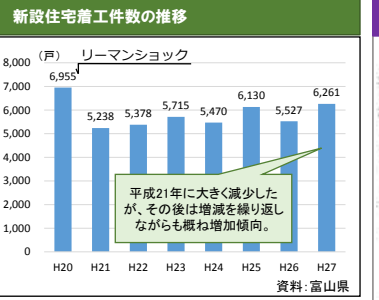
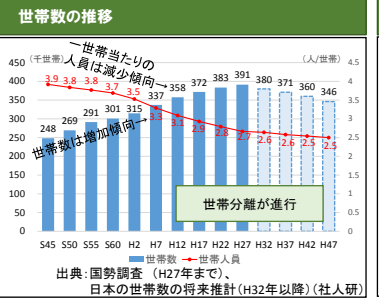
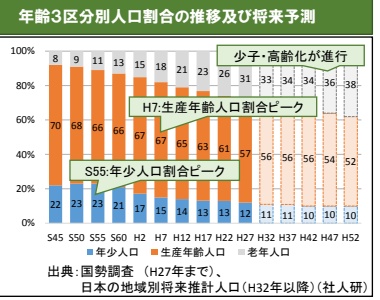
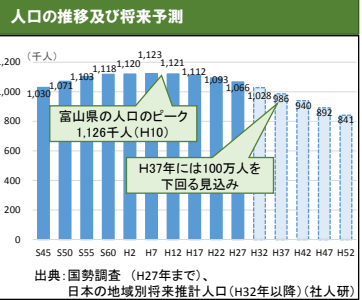
- 地域公共交通の現状・問題点、課題の整理を踏まえて、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通の在り方、住民・交通事業者・行政の役割を定めるもの。

③ 公共施設等総合管理計画の策定 (平成26年4月、総務省からの要請)

- 地方公共団体において人口減少や少子高齢化の進展、将来の公共施設等の維持管理・更新費用の増大が見込まれること等を踏まえ、公共施設の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に実施し、財政負担の軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するためのもの。

県内では、富山市、高岡市、魚津市、黒部市、小矢部市が作成

富山県の社会経済動向



大規模小売店舗出店の状況

・大規模小売店舗のうち、床面積の合計が10,000㎡を超える大規模集客施設が近年相次いで出店。

番号	大規模小売店舗の名称	店舗面積(㎡)	開店日
①	イオンモールとみなみ	25,777	H27.7.14
②	三井アウトレットパーク北陸小矢部	22,700	H27.7.16
③	コストコホールセール射水倉庫店	10,099	H27.8.22

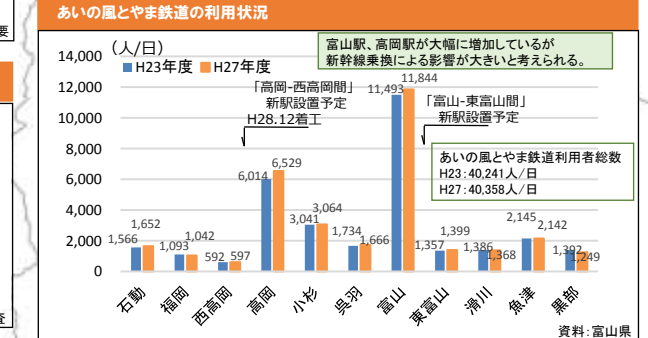
資料: 富山県

企業立地の状況

・充実した広域交通体系を背景に企業立地が進展。
・高速道路のインターチェンジ周辺等に整備された工業団地が、企業立地の受け皿としての役割を担っている。

番号	企業名	竣工・稼働等の時期
①	榊富山村田製作所	H28~H29
②	NGSアドバンスファイバー㈱	H28末 稼働予定
③	アイシン軽金属	H28.11 竣工
④	救急薬品工業	H29 稼働予定
⑤	ダイト㈱	H29.5~6 完成予定
⑥	ユースキン製菓㈱	H28.4 稼働
⑦	日本カーバイド工業㈱	H28.12 竣工
⑧	日医工㈱	H31 竣工予定
⑨	キョーランリメディア㈱	H29.3 竣工予定
⑩	㈱能作	H29春 供用開始予定
⑪	日立国際電機㈱	H28.1 稼働
⑫	YKK AP R&Dセンター	H28.4 開設
⑬	㈱プレステージ・インターナショナル	H27.4 稼働

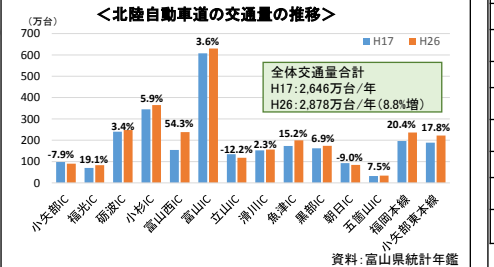
資料: 富山県



高速道路の整備と利用状況

<過去10年間に整備されたIC及び整備中のIC一覧>

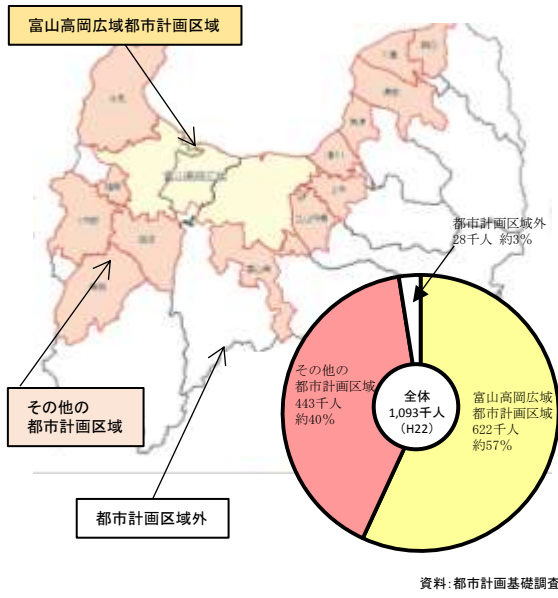
自動車道名	IC名	供用開始年月
北陸自動車道	入善SIC	H18.10
	流杉SIC	H21.4
	高岡砺波SIC	H27.3
	上市SIC (H28事業化)	
東海北陸自動車道	砺波SIC	H27.3
	水見北IC	H19.4
能越自動車道	水見北IC	H21.10
	瀬浦IC	H24.3
	水見南IC	H28.3



富山高岡広域都市計画区域の現状等

人口

○富山高岡広域都市計画区域内の人口が県全体人口の約57%を占める。



交通体系の整備

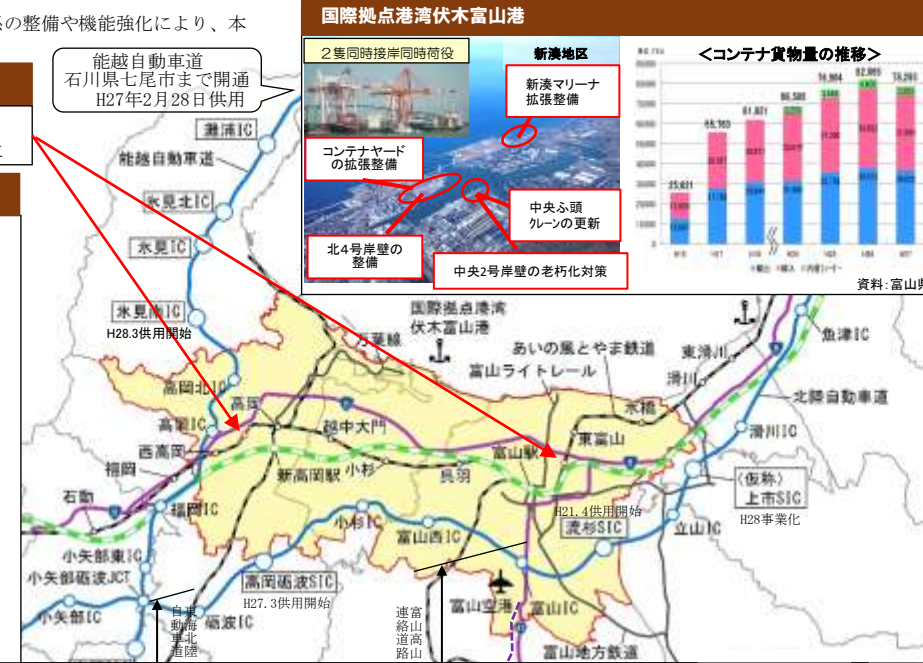
○高規格幹線道路、港湾等の広域交通体系の整備や機能強化により、本県内外との交流が活性化

あいの風とやま鉄道新駅設置

- 「富山-東富山間」新駅設置予定
- 「高岡-西高岡間」新駅設置予定、H28.12着工

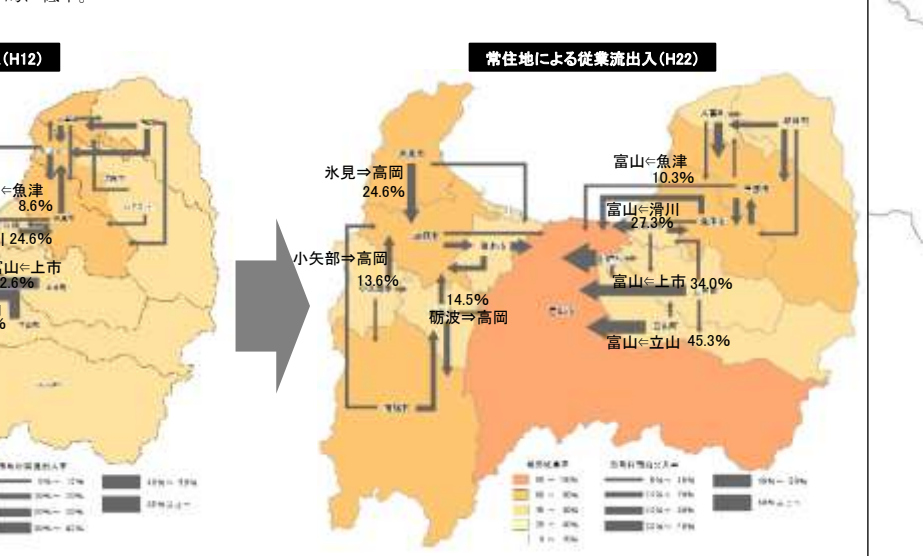
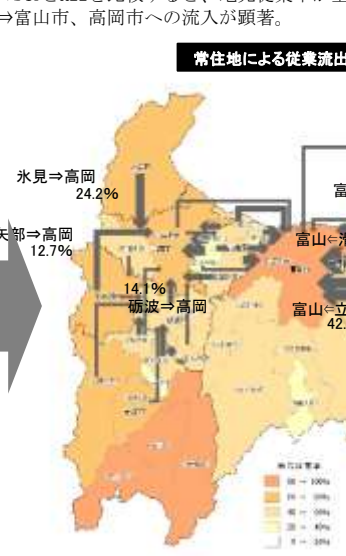
高規格幹線道路等の整備

- 高規格幹線道路**
 - 東海北陸自動車道
 - ・南砺SIC南側～小矢部砺波JCT
 - ・城端トンネル北側～福光IC
 H28年8月付加車線試行設置決定
 - ②地域高規格道路
 - 富山高岡連絡道路
 - ・国道8号富山高岡バイパス(坂東立体)
 平成28年3月19日供用
 - 富山外郭環状道路
 - ・国道8号豊田新屋立体
 H21年度より事業化
 - 富山高山連絡道路
 - ・国道41号猪谷楡原道路
 - 富山市猪谷～楡原 H9年度より事業着手
 - 富山市庵谷～楡原 H22年度供用開始
 - ・国道41号大沢野富山南道路
 - 富山市楡原～栗山 H26年度より事業着手



県民の通勤動向

○県民の通勤行動が広域化
⇒S45とH22を比較すると、地元従業率が全体的に低下。
⇒富山市、高岡市への流入が顕著。



※各市町村の流出・流入割合について、上位3つ(流出率5%以上)を図化。 資料: 国勢調査